



① 市庁舎屋上から負傷者をはしご車で救助 ② 災害対策本部では被害や避難の情報を共有した ③ テント避難所に避難してきた住民の健康状態などを確認 ④ 負傷者を誘導しながら避難する市職員

## 巨大地震に備えて 防災・避難訓練を実施

市役所で2月22日、震度6弱の南海トラフ地震の発生を想定した防災・避難訓練を実施。市と市消防本部の職員をはじめ、吉備医師会や特定非営利活動法人 AMDA、来庁者、近隣住民など約500人が参加しました。

市内各地で家屋の損壊が生じ、市庁舎も倒壊の恐れがあるとして、来庁者や職員が一斉に避難。取り残された負傷者は、市消防職員がはしご車などで救

助しました。

総合文化センター前に設置された災害対策本部では、市内の被害状況の情報収集や市民に向けた避難情報の指示などを行いました。カミガツジプラザでは、市職員がテント避難所を設営。近隣の住民が避難しました。

市では、市民の安全を守るため、今後も防災体制の充実・強化に努めます。

## 今こそ地震への備えを

### 平常時からの備え

#### ◆確認しておくこと

日頃から、家族の連絡先や連絡方法、非常時の集合場所などを話し合い、ハザードマップで避難所や避難経路を確認しておきましょう。

#### ◆避難所への避難を想定した非常持ち出し品の準備

避難所で2～3日過ごす想定で、自分に合った重さで準備しましょう。期限があるものは入れ替えましょう

#### 非常持ち出し品の例

- 食料品、飲料水 ●衣類 ●モバイルバッテリー
- 懐中電灯 ●医療品 ●現金 ●洗面用具 ●貴重品 ●感染症対策品 など

#### ◆在宅避難を想定した備蓄の確保

電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備え、生活に必要なものを最低3日分、可能

であれば1週間分備蓄しましょう

※普段の食料品や日用品の買い置きを少しだけ増やし、定期的に消費して買い足すことを繰り返すローリングストックという備蓄法がおすすめです

#### 備蓄品の例

- 食料品、飲料水（1人1日3ℓが目安） ●衣類
- 懐中電灯・電池 ●トイレトペーパー ●ラップ など

### 地震が発生したら

#### ◆直ちに DCH の行動を

DCH（Drop：姿勢を低く、Cover：頭・体を守り、Hold：動かない）の行動を取り、揺れが収まったら逃げ道の確保や火の元の確認を行いましょう。

#### ◆情報の入手

そうじゃメールマガジン・市公式 LINE・地上デジタル放送（dボタン）などで、避難情報を確認しましょう。

問い合わせ 危機管理室（☎0866-92-8599）



① 協同組合ウイングバレイでは、職域接種の初日に約180人が接種を受けた  
② 外国人専用集団接種枠で3回目接種を受ける市内事業所勤務の外国人

2月28日、市内の自動車部品メーカーの従業員などで構成される協同組合ウイングバレイでは、組合に加盟する12企業の従業員やその家族を対象に職域接種を開始。希望者約2000人が5月中旬までに接種を終える予定です。市では、総合福祉センターで実施中の集団接種で、企業・大学・外国人専用予約枠を独自に設けました。市内に事業所がある企業や市と包括協定を結ぶ大学の関係者などが対象。約90団体などの希望者2000人の接種を順次進めています。

## 新型コロナウイルス 関連情報

問い合わせ 新型コロナウイルス感染症対策室（☎0866-92-8356）

ワクチン接種の申し込みはこちら



市ホームページ

## 新型コロナとの共存に向けて 3回目ワクチン 職域接種も開始

新型コロナウイルスの3回目ワクチン接種が進んでおり、企業単位でも接種が始まっています。3月14日時点で、18歳以上の市民の52%に当たる3万人以上が、3回目の接種を終えています。

## 高齢者施設でのクラスター発生を受け WEB 研修会で対策共有

県内の高齢者施設で新型コロナウイルス感染症のクラスター（感染者集団）が相次いでいる状況を受け、2月22日に市役所で緊急WEB研修会を開催。総社市介護保険関係施設事業所ネットワークに加入する約70事業所がオンラインで参加し、情報共有や感染症予防対策の再確認を行いました。

研修会では、県のクラスター対策を指導する岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野の頼藤貴志教授が、全国・県内の感染状況や施設での感染防止対策、クラスター発生時の対応などについて講演。「現在流行しているオミクロン株は重症化しにくいと言われているが、感染力は高い。感染者数が増えれば重症者も増え、病床逼迫につながる恐れがあります。いま一度、各施設で基本的な感染対策を徹底するとともに、職員の



感染予防策やクラスター発生時の対応を市内の高齢者施設などで共有した

体調が悪ければ休める環境づくりも進めてほしいと思います」などと述べました。吉備医師会の藤井基弘医師は、「施設でクラスターが発生した場合、冷静に対応することが大切。行政や医療関係者とも協力しながら乗り越えていきましょう」と呼び掛けました。

問い合わせ 長寿介護課介護保険係（☎0866-92-8369）

●発熱がある場合などの相談先については、17ページで確認してください